テーマ名

＜「成果詳細」（公開用）作成例＞

別紙3

―サブタイトル名―

1. 背景

**公開用ですので、秘匿情報等がある場合、公開は当分の間控えたい等のご要望がある場合は、テーマ名の下に、その旨、記載していただき、オリジナルファイルでの提出をしてください。公開時期は別途調整させていただきます。**

1. 目的
2. 開発の内容

（開発したソフトウェアの動作環境、構成、機能等を、図等を使用して記述）

1. 従来の技術（または機能）との相違

（開発したソフトウェアの新規性、類似のソフトウェアと比較した場合の優位性等を記述）

1. 期待される効果

（開発されたソフトウェアにより、波及的に活性化される技術分野・産業分野等の範囲やその効果を可能なかぎり具体的、定量的に記載）

1. 普及（または活用）の見通し

（開発成果に関する利用者の具体的なイメージ[例えば、利用者数など]を可能な限り定量的に記載）

1. クリエータ名（所属）

（例；情報 太郎（情報処理推進機構 未踏部））

（参考）関連URL

[記載要領]： 開発者の方々に問題のない範囲で下記要領にしたがって記載下さい。

1. 書式： A4（縦置き）で3～4枚程度、フォント（12ポイント、ゴシック）、

余白（上下左右とも25mm）、文字数等（37文字、38行）、

ページ数（1/1、1/2 ・・とし、センタリング設定）。

ただし、テーマ名及びサブタイトルのみ14ポイント、センタリング設定。

1. テーマ名： 契約名を記載。
2. サブタイトル： 20字以内で記載（成果のイメージをつかんでもらうためのもの）。
3. 1．～6．までは提案書等をベースに記載。
4. 7．クリエータ名： 氏名に加え、（ ）書きで問合せ先となる所属等を記載。

なお、複数のクリエータがいる場合は、すべてのクリエータ名を記載のこと。

1. 成果物を紹介する、または成果物に関連するURLがある場合には、それを記載。
2. 図表： 原則、図表は本文で引用した箇所に近い場所に添付（原稿末尾にまとめて添付する

ことは避けること）。

図表の前後には、空白行を1行設け、「表」のキャプションは表の上に、「図」の

キャプションは図の下に記載。図番号・表番号はそれぞれの通し番号として記載。

1. ファイル名： 「代表クリエータ名」をファイル名として保存。 ex：情報太郎（成果詳細）